

慢性の痛みに対する薬物治療

今月の先生 見城 知巳 先生 (見城整形外科クリニック 院長)

中高年の多くの方が、腰痛、肩こり、膝や肩の痛みなど、運動器由来の痛みで悩んでおられることと思います。これらの慢性的な痛みに対する薬物治療の考え方が、最近変化していることは、ご存知でしょうか？これまでは、怪我やぎっくり腰などの急性の痛みから慢性的な痛みに至るまで、ロ○ソニンや○ルタレンといった「抗炎症性鎮痛剤」が、いわゆる「痛み止め」として投与される場合がほとんどでした。しかしながら、これらの薬は、慢性的な痛みには効果が少ないばかりか、胃腸障害、腎障害などの副作用が危惧されてきました。ここ数年で、「プレガバリン」と数種類の「オピオイド」(一部は医療用麻薬)が、神経痛や慢性のいろいろな痛みに対し

て、処方可能となりました。これらは、局所を治すのではなく、脊髄神経や脳の神経伝達経路に作用して、痛みを軽減させるお薬です。当然、医薬品なので、副作用の有無が継続して服用できるか否かの大事なポイントではありますが、「抗炎症性鎮痛剤」にくらべて、胃腸障害や腎障害のリスクが少なく、かつ慢性の痛みに対する効果が大きいので、注射による治療や手術を回避できる場合もあります。

慢性の痛みでは、その原因を完全に、またはすぐに取り去ることが困難な場合が多いので、痛みのレベルを下げることにより、精神的に安定させたり、日常生活動作を改善させて、生活の質の向上を図ることが重要です。

見城整形外科クリニック

整形外科全般の治療をはじめ、スポーツ障害の治療においても活躍されている見城院長。効果的なリハビリの指導など、スポーツをしている方や学生からも厚い信頼を受けています。院内には、ゆったりとスペースのとられたリハビリ室があり、温熱器機や低周波治療器、牽引器機など、最新のリハビリ器機が揃っています。薬局も隣接しているのでとても便利です。



▲〈MEGAドン.キホーテ ラパークいわき店〉隣の白い建物



▲見城知巳院長

■中央台飯野3-33-4
☎28-3985

■診療科目
整形外科、リハビリテーション科、
リウマチ科

■診療時間
8:30~12:00、14:30~18:00

■休診日/木曜日、日曜・祝日